

## 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	クライミング及び木登り体験事業
事業主体 (連絡先)	NPO 法人蓼科・八ヶ岳国際自然学校
事業区分	(3) 教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	976,955 円 (うち支援金 : 739,000 円)

### 事業内容

#### 「ボルダリングボードの設置」

子どもから大人まで楽しめるように、高さや難易度など専門家にアドバイスをいただきながらボルダリングボードを設置した。一般の利用者数は設置後の7月15日以降延べ419名だった。うち茅野市民は13名。

#### 「案内看板の設置」

夏の間は観光客の交通量も多いため、観光客にボルダリングの案内をするため道沿いに看板を設置した。

#### 「ボルダリング&木登り体験」 イベントの開催

開催日：平成30年9月30日(日)10時~14時

参加者：4組8名



【ボルダリング壁】

### 【 目標・ねらい 】

- ① 地元の子供が地元の自然の中で遊べる環境をつくる
- ② 子供たちが外で遊ぶことを習慣化させる
- ③ 体を動かす事の楽しさを体感してもらう
- ④ 多くの人が集う環境を整える

### 事業効果

#### 「ボルダリングボード設置」

実際に夏季繁忙期にはたくさんの子供や保護者に利用していただいた。利用者からは「クライミングは興味があったがなかなか接する機会がなく、ここで出来るととてもよかった。また来たい」などの声をいただいた。県外からの利用者の方が多かったが、蓼科エリアの別荘住民の利用もあり、リピートや口コミで来られた方もあった。

#### 「案内看板の設置」

国道299号沿いにボルダリングの案内看板を設置したが施工が遅れてしまい、夏季繁忙期には間に合わなかった。

#### 「ボルダリング&木登り体験」

参加された親子にはボルダリングだけではなく、北八ヶ岳の自然豊かな森の中で高さ15mほどのカラマツの木に登る体験をしてもらった。

### 今後の取り組み

次年度は地元の子供たちの利用率をあげていきたい。春~秋の自然学校のプログラムチラシやホームページやフェイスブックなどにボルダリングが出来たことや情報を掲載し、多くの方に来ていただけるよう情報発信を行なっていく。木登りイベントも今までは枝の距離の関係などで高学年を中心に行っていたが、木登り用ホールドを購入させていただいたので、今後は低学年や幼児もターゲットにしながらプログラムやイベントを企画していく。次年度は1.3倍の利用者を目標にする。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

ボルダリング壁は予定通り完成した。地元の子供の利用は目標値に届かなかったものの、県外からの利用者は目標を大きく上回った。